

# Bookstart Newsletter



2018  
秋  
No.62

ブックスタート・ニュースレター



ブックスタート発案者 ウェンディ・クーリングさん  
千葉県鎌ヶ谷市にて (2016.7)

## 第1特集

# 世界のブックスタート ～世界ネットワークの構築に向けて～

1992年に活動が開始したイギリスのブックスタートは、昨年25周年を迎えました。10月に開かれたお祝いの会で、その功績をたたえられ表彰された発案者のウェンディ・クーリングさんは、スピーチで次のように語っています。

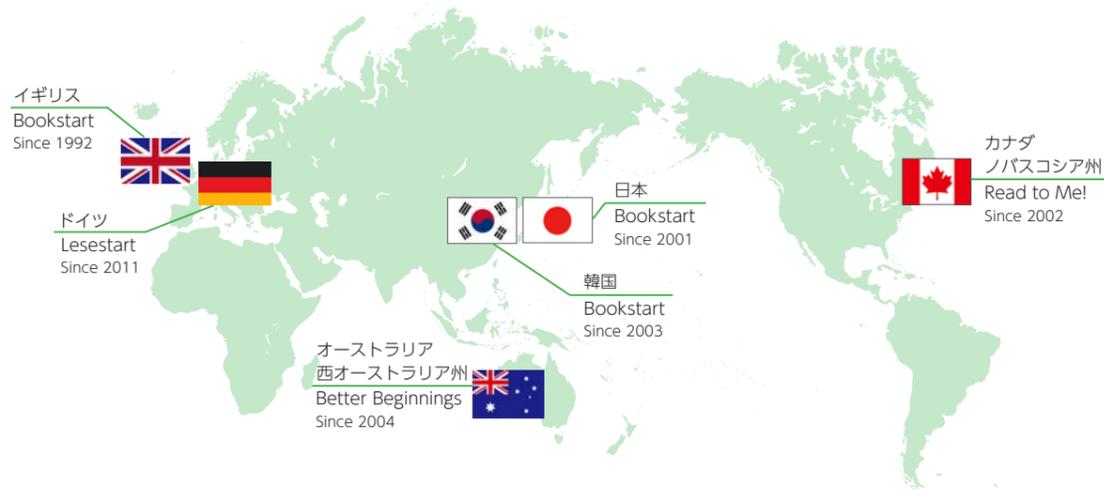
「ブックスタートは、私の人生のキャリアの中で、最も誇りに思っているものです。開始当初から、私は活動の提唱者として世界中を旅し、シェアブックス（絵本をひらくひとときを共に楽しむこと）の大切さを話してきました。今では多くの国でそのアイデアが受け継がれ、イギリスのみならず、遠く離れた土地でもブックスタートが花開いています」

今年、イギリスの推進組織ブックトラストの呼びかけで、「赤ちゃんに絵本を手渡す活動」を展開している国（および地域）のネットワーク構築に向けた動きが始まりました。日本もそのメンバーとなり、スカイプ（インターネット電話）による定期的な会議に参加しています。

P2へつづく

## 第2特集 (P6)

専門家に聞く  
赤ちゃんの視覚のお話と絵本を楽しむためのヒント



今回の特集では、これまでのニュースレターでもたびたびご紹介してきた、イギリスと韓国のブックスタート最新情報のほか、世界ネットワーク構築のメンバーでもある、ドイツ、カナダ（ノバスコシア州）、オーストラリア（西オーストラリア州）の特徴ある活動をご紹介します。



現在のイギリスにおけるブックスタートの状況は、イングランドとウェールズ、スコットランド、北アイルランドでそれぞれ異なっています。その中で、ロンドンにある基金団体ブックトラストが推進組織となり活動の運営に関わっているのは、イングランドとウェールズです。これ



らの地域では、それぞれの自治政府からの資金提供と出版社からの支援を受け、0歳で最初のブックスタート・パックを手渡し、その後3歳のタイミングでも絵本を手渡します。すべての子どもが対象となっています。

スコットランドでは、推進組織であるスコティッシュ・ブックトラストがブックスタートから着想を得て「Bookbug」という活動を展開しています。スコットランドもまた、自治政府からの資金提供と出版社からの支援を受け、0歳、1・2歳、3歳、5歳の4回のタイミングで、すべての子どもを対象に絵本のパックが手渡されています。

北アイルランドでは、2015年に自治政府からの資金提供がなくなつて以降、全域的な活動は行われていません。

**特別なニーズがある子どものためのパック**

イングランドとウェールズでは、すべての子どもが対象となる通常の絵本パックのほかに、特別なニーズがある子どものためのパック開発に

**◆ Bookstart Corner (1・2歳児)**

経済的に厳しい状況にあり、家庭内暴力や薬物中毒などの問題を抱えている可能性のある家庭向けのプログラム (Bookstart Corner) が手渡されるパック (取り組みの内容) Bookstart Cornerは、イギリス全土に点在するチルドレンズセンター (日本の子育て支援センターや児童館のような施設) で展開されるプログラム。対象となる家庭に対して、家庭訪問を行い、センターへの来館やおはなし会への参加を促したりする中で、4回のタイミングで絵本のパックが手渡される。厳しい家庭環境にある親子が、自信を持って絵本の時間を楽しむことができるよう、集中的な支援を行うことが目的とされる。

**◆ Dual Language (多言語対応プログラム)**

英語を母語としない家庭向けに、出版社 Mantra Linga の協力のもと30言語の絵本を用意。また、パックの中の保護者向けの冊子も多言語のものを用意している。

も力を入れていきます。そのパックの内容をいくつかご紹介いたします。

**◆ Bookshine (0・2歳児/3・4歳児用)**

聴覚に障がいがある子どもためのパック (パックの内容)

絵本2冊/赤ちゃんが歌う様子がプリントされたテーブルマット/聴覚に障がいがある子どもとの絵本の時間について書かれた、保護者向けの情報冊子/3・4歳児用には簡単な手話がプリントされたしおりも入る



© BookTrust

**◆ Booktouch (0・2歳児/3・4歳児用)**

視覚に障がいがある子どもためのパック (パックの内容)

触って楽しむことができる絵本2冊/視覚に障がいがある子どもとの絵本の時間について書かれた保護者向けの情報冊子



**15年目を迎える変化**

2003年に始まった韓国のブックスタートは、15年が経った現在、全国の62%の自治体で実施されています。推進団体であるブックスタート・コリアの総括室長リ・ギョングンさんによると、活動の開始当初は保健センターでの実施を目指しましたが、多くの家庭は病院で健診を受けるために保健センターでの受診率が低く、現在では図書館が中心的な活動拠点になっているそうです。図書館が母子保健、子育て、幼児に関係する公共機関と協力して地域の活動を行っています。

ブックスタート・パックを手渡すのは、図書館司書のほかボランティアの場合も多く、日本と同じように、赤ちゃんと一緒に絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットで手渡しています。

ブックスタートを行ったことで、韓国の公共図書館には大きな変化が



© BookTrust

**◆ Bookstart Star (3・4歳児用)**

細かい運動機能 (Fine motor skill) の発達に遅れがある子どもためのパック (パックの内容)

触って楽しむことができる絵本2冊/絵本を読む際に指にはめて遊べる指人形/指人形を使った絵本の楽しみ方が書かれた資料



© BookTrust

ありました。以前は「赤ちゃんは図書館には入れない」という暗黙の了解がありました。今ではほとんどの図書館に赤ちゃんや幼児向けの絵本が並んでいます。また図書館の貸出カードの登録も、「4歳以上」「7歳以上」と年齢制限を設けているところが多かったのですが、現在は図書館で赤ちゃんがカードを作ることは一般的になりました。



© Bookstart Korea



© Bookstart Korea

パックを手渡ししながら、どのように絵本を楽しめばよいのかを紹介し、赤ちゃんに絵本を読み、話し、歌を歌うことの大切さを伝えます。パックに入る絵本や資料は、英語、フランス語、アラビア語、中国語、ミクマク語（北アメリカ大陸東部に住む先住民ミクマク族の言葉）で用意されています。



図書館で行われるおはなし会などのフォローアップ事業では、参加した親子どうしの自主的なサークルが立ち上がることがよくあり、保護者とボランティア、司書による絵本の読書会が作られることも多いそうです。またブックスタートが始まった当初は、赤ちゃん向けの絵本が少なかったために、ブックスタート・コアリアが赤ちゃん絵本を出版するためセミナーを開催したり、出版社と協力して赤ちゃん絵本を制作し、それを実際の活動で使用したこともあったそうです。しかし今では、赤ちゃん向けの絵本を作る出版社も多くなり、クオリティも向上しているといえます。

2019年には、首都ソウル市での全面的な実施が予定されており、ブックスタートの対象者はおよそ倍

近くなるそうです。活動がさらに発展する大きな転換期となることでしょう。

ギョングンさんは、世界ネットワーク構築の試みについて次のように語ってくれました。

「赤ちゃんを健やかに育てようとする心に国境はありません。イギリスのブックスタートのウェブサイトで『地球村』の赤ちゃんの微笑みを見ていると、世の中のすべての差別や抑圧が簡単に解決されるような希望が芽生えます。ブックスタートの世界ネットワークは、世の中のすべての赤ちゃんを、平和で安全な環境の中で健やかに育てたいと願う大人たちに、大きな力を与えてくれると思います」

（取材協力/ベク・ウォングン氏）



2011年にスタートした活動は、読書推進団体「Stiftung Lesen」

平等な教育の機会を



フォローアップ活動の充実を

2004年に小規模な試験実施を行うことから開始した活動は、現在では州に生まれるすべての赤ちゃんが対象となっています。生後6〜8週の健診を受けた赤ちゃんは、保健センターか図書館でパックを受け取ることができます。図書館バッグとしても使えるパックの中には、ボードブックの赤ちゃん絵本、わらべ歌のポスター、おすすめ絵本リスト、アドバイス・ブックレット、わらべ歌のDVDが入っています。



の事業のひとつとして取り組まれ、現在、ドイツに生まれる約50%の赤ちゃんを対象に、病院での12か月健診で実施されています。

活動の費用は国の教育省が予算化しています。移民が多いこともあり格差社会の不等が子どもの教育にも大きな影響を及ぼすことが問題とされる中で、活動は「人生のはじまりの時点から平等な教育の機会を与えるもの」としてその効果が期待されています。



また1歳児のほか、3歳児（図書館）、就学時（学校）にも絵本のパックが手渡されます。パックに入る保護者向けの資料は、ポーランド語、ロシア語、トルコ語でも用意され、

西オーストラリア州立図書館が各自治体の活動を支援しており、財政的には州政府と地方自治体の予算に加え、大手の鉱業資源企業からの寄付によって運営されています。西オーストラリア州は鉱業が盛んで、州政府が企業などから徴収する鉱山使用料の25%が地方自治体に還元される取り決めがあり、その費用も活動に充てられているそうです。

州立図書館では各地域でのフォローアップ活動の充実を力を入れており、2歳児を対象に、わらべうたを歌うことに焦点をあてた「Sing with me! パック」を手渡し活動を試験的に開始したほか、各自治体で子ども向けの活動をする団体に対して、絵本、指人形、言葉を使うゲームなどが入った「アウトリーチ道具箱」を貸し出す事業なども展開しています。

世界で赤ちゃんの幸せを願う人々とともに

26年前にイギリスで時かれたブックスタートの小さな種は、ウエン

ウェブサイトでさらにも多くの言語で情報が発信されています。



赤ちゃんが生まれたらすぐに

カナダ東部の大西洋に面するノバスコシア州は、半島と沖合の島々から成る地域です。2002年から活動が始まり、現在では人口約95万人の州に生まれるほぼ100%に近い、年間約1万人の赤ちゃんに絵本が手渡されています。

活動のために設立された非営利団体が事業主体となり、国、州政府からの予算のほか、個人、企業、団体からの寄付を受け、継続した活動を目指して基金も設立されています。州内に11ある病院で赤ちゃんが生まれると、24時間以内に一人ひとりのベッドサイドに「Read to Me」の担当者が出向きます。活動には研修を受けた100人のボランティアが協力しており、彼らが連絡を受けて駆けつけるのです。そこで絵本の

ダイさんの言葉どおり、いま世界の各地で花開いています。それぞれの国や地域には、まったく異なる事情や社会的な背景もありますが、各地で地道な活動が続けられているのです。この世界で、どれほど多くの人々が赤ちゃんの幸せを願いながら「赤ちゃんに絵本を手渡し活動」に関わっているのでしょうか。

これから構築される世界ネットワークでは、単に各地の活動の情報が交換されるだけでなく、活動に関わっている数多くの人々が、赤ちゃんや活動への思いを共感し合えるようなつながりを作り出せたらと考えています。

日本の私たちにもまた、世界の人々と分かち合いたい経験や思いがたくさんあると思うのです。



専門家に聞く

## 赤ちゃんの視覚のお話と 絵本を楽しむためのヒント

「赤ちゃんはどれくらい目が見えているのかな」「絵本よりも私の顔をよく見ているようだけれど……」。ブックスタートで絵本を読む時、そんな疑問を感じたことはありませんか？  
赤ちゃんは、絵本をどんなふうに見て、楽しんでいるのでしょうか。視覚に関する研究をされている専門家に、お話をうかがいました。

お話をうかがった方  
日本女子大学  
人間社会学部心理学科  
教授  
金沢 創 さん



乳児の知覚発達、幼児の認知発達、発達障害児の認知、新しい乳幼児健診プログラムの開発など、多様な研究に携わる。理学博士。

**Q** 赤ちゃんの視力はどのくらいですか？

赤ちゃんの見る世界は霧に包まれている  
新生児の視力は0.02くらい、生後半年でも0.3程度と言われていますが、視力が低いとはい

**Q** 数組の親子に向かって読みかきをする時のような工夫ができますか？

それぞれの赤ちゃんに読んでみて

数組の親子に対して、大きな教室などで絵本を見せた場合、赤ちゃんが絵本に集中することは難しいかもしれません。なぜなら、数組に対して一度に絵本を見せようとすると、どうしてもそれぞれの赤ちゃんとの絵本の距離が離れてしまうため、赤ちゃんの視野の中に読み手の顔や部屋の風景が入ってしまう、それらに注意が向いてしまうことがあるからです。  
数組に対して読みかきを行う場合は、ある場面を一人の赤ちゃんに読んだら、隣の赤ちゃんにも同じ場面をもう一度読むという方法を取れば、それぞれの赤ちゃんが絵本を認識しやすくなると思います。

**Q** 赤ちゃんはなぜ読み手の顔をよく見るのでしょうか

赤ちゃんは顔が好き

新生児が好む図形的特性を調べた実験(図1)では、図形の要素が下方よりも上方に多く集まっているものを、好んで見ることがわかっています。そのため赤ちゃんは、上の方に二つの目が並び、下に一つの口が並ぶことによって作られる「顔」が好きなのです。

え、実はピントは合っています。ただ赤ちゃんの場合、目から入ってきた情報を処理する脳が未熟であるため、近づいても遠ざかっても、見え方はぼんやりとしています。さらに、コントラスト感度も低く、1歳でも大人の5分の1、10分の1ほどのため、淡い色のパターンなどは認識できません。つまり、赤ちゃんは単に視力が低いというわけではなく、霧がかかったように薄くぼんやりとした世界を見ているのです。



大人の見え方



赤ちゃん(3か月児)の見え方

**Q** 絵本を見せる際に知っておくとよいことは？

コントラストがはっきりしている絵は認識しやすい

前述の理由から、赤ちゃんには細かい線や形、淡い色のパターンは認識できません。  
絵本であれば、絵の輪郭が明確なものや、背景と絵のコントラストがはっきりとしているものはわかります。例えば、白い背景に黄色の絵が描かれていても認識できないけれど、青い絵ならわかりやすいといった具合です。  
また、ページをめくることによって起こるコントラストの変化にも、興味を示すでしょう。

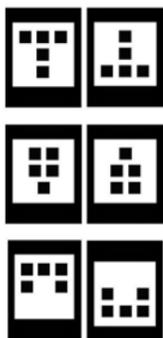


図1 左側の列の図を新生児は好む  
出典：Simon,F.,Valenza,E.,Macchi,Cassia,V.,Turati,C.,&Umiltà,C.(2002). Newborns' preference for up-down asymmetrical configurations'. Developmental Science.5,427-434.

さらに赤ちゃんは、早くから動きに反応するため、顔の動き(表情)、特に笑顔はよく見ます。そして何度もお母さんや周りの大人の顔を見て学習すること、赤ちゃんは顔の細かい部分も認識できるようになります。絵本に出てくる動物の顔も、人間の顔の特徴に当てはめて認識していくのでしょう。

ただし正面から見ないと、小さい赤ちゃんは顔を認識することができません。横顔を顔として認識できるようになるのは、7〜8か月ごろであることが実験によりわかっています。そのため赤ちゃんは、横顔の絵よりも、正面を向いた絵が好きなのですね。

**Q** 赤ちゃんが読みかきかせの最中に絵本を触ろうとしますが……

見て触れて確かめている

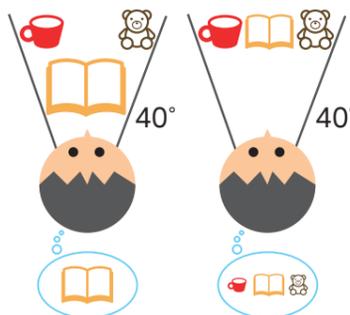
5〜6か月ごろの赤ちゃんは、興行きがわかるようになるため、絵本に手を伸ばす姿も見られますが、

赤ちゃんの視野は大人より狭い

赤ちゃんにもものを見せる時は、視野に占める大きさがポイントです。人間が本来見えている中心部分の角度は、実は5度ほどしかありません。大人がもつと広い180度の範囲を見ているように感じるのは、目を素早く動かしつつ、脳が周辺視野を補完しているからです。一方、この能力が大人ほど発達していない赤ちゃんの場合、視野の広さは縦横40度ほどで、この範囲の外に注意がいきません。ですからまずは、赤ちゃんの目の前で絵本を見せることが大切なのです。

絵本との距離に工夫を

また、赤ちゃんの距離を工夫してみるとよいでしょう。距離が離れると、絵本の周りには色々なものが視野に入ってきてしまうため、赤ちゃんは絵に集中できません。ただし、大きな絵本を近づけすぎると、絵本の一部分しか見えなくなってしまう。適度に近くで見せるとよいのではないのでしょうか。



それは見えているものと手につかんだものが、同じであることを確かめているのでしよう。そして、見たとおりの形を手で触ることで、新たな発見や楽しみを見いだしているのだと思います。そうした体験を通して、赤ちゃんは色々なことを身につけていくのですね。

金沢さんからのメッセージ

赤ちゃんが見ている世界について読み手が理解を深めておくと、絵本を読む際にもさらに工夫ができると思います。しかしもちろん、赤ちゃんが絵本を楽しむための要素は、視覚だけではありません。例えば、赤ちゃんは音で注意を覚醒して、注視するところを探します。絵本にある楽しい擬音語・擬態語とともにページがめくられ、コントラストが変わることで、赤ちゃんはより興味を持つのでしよう。

また、絵本を通して語りかける言葉をすべて理解できなくても、赤ちゃんには「この人は何かをしゃべっていて、何かが描かれている」ということはわかります。その時の赤ちゃんの反応を見た読み手が赤ちゃんとながったと感じ、もっと話しかけたくなることは、とても大切だと思います。

そしてブックスタートで絵本を開く時に、スタッフが赤ちゃんの反応を引き出せると、それを見ている保護者にも、我が子と絵本を開くことに対してポジティブな感情がわくのではないのでしょうか。

# ほっと PHOTO

ブックスタート会場でのひとコマや、全国で活動に携わる皆さんをご紹介します！

各地域の話題は当法人ウェブサイトのスタッフブログでもご紹介しています。



ブログのQRコード

ブックスタート スタッフブログ 検索

## 香川県三木町

会場はほっこり明るい雰囲気。会話も弾みます。  
[ブログ 2018/8/17]



## 10周年・15周年 おめでとうございます！

祝  
10周年

### 福岡県飯塚市

これまでに絵本を受け取った赤ちゃんは、1万人を超えました！  
[ブログ 2018/8/14]



写真提供：飯塚市

祝  
15周年

### 鳥取県鳥取市

記念イベントを開催。手遊びの実演で会場全体が和やかに。  
[ブログ 2018/5/24]



祝  
15周年

### 茨城県日立市

約50名のボランティアさんが活躍中です！ [ブログ 2018/4/13]



写真提供：日立市

## 千葉県鎌ケ谷市

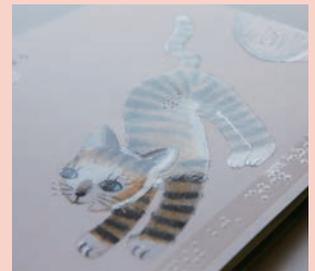
わらべうたを楽しんでから、にっこり笑顔の絵本タイム。  
[ブログ 2018/6/12]



## てんやく絵本ふれあい文庫 (大阪府大阪市)

[ブログ 2018/7/4]

視覚に障がいのある方のために「てんやく絵本」を製作し、無料貸し出しを行っている「ふれあい文庫」さん。ブックスタートでご希望に応じて手渡す「てんやく絵本」も製作しています。



絵の形が分かるシートを貼り付けたり、本文や説明文を点字にするなど、全国のボランティアさんが一冊ずつ心をこめて作っています。

右下：「ととけっこう よがあげた」  
(案/こばやしえみこ 絵/ましませつこ こぐま社) のてんやく絵本

## ことのは

スタッフが出合った言葉

僕、絵本読んでもらうんだ／母さんに読んでもらうんだ／点字がついている絵本だよ／僕が読んでとたのんだら／母さんの指が読んでくれる／母さんの声が聞かせてくれる／とても楽しいお話を

『見えないお母さん絵本を読む一見えるあなたへのメッセージ』(岩田美津子著\*・せせらぎ出版)で紹介されている詩の一節です。絵本の楽しみ方は親子それぞれ。そこには、すべての親子に普遍なもの～お互いのぬくもりを感じながら心を通わせる share books の時間～があることを感じます。

※てんやく絵本ふれあい文庫代表

### <研修会のご案内>

ブックスタート研修会 in 三重  
出会う・つながる・語りあう

日時：11月13日(火) 10:30 - 16:00

会場：三重県総合文化センター

対象：自治体関係者やボランティアなど

定員：80名(事前申込制)

参加費：無料

※詳細はウェブサイトをご確認ください。